

島九条の会通信

第60回例会の報告

8月27日（土）島公民館で、シャンソン歌手今里哲さんの講演会を島9は開きました。テーマは「今『人権』について考えるー在日として、ゲイとして、人間として」、予定では講演だけでしたが、何曲もの歌も聞かせてもらいました。鋭くかつ楽しい素敵な話と素晴らしい歌声で、40人を超える会場一杯の参加者には至福の2時間でした。要約でしかお伝えできませんが、以下哲さんのお話です。

今里 哲は語った 歌った 熱く！

人の生き方を 人権を 平和を 憲法を

両親は韓国・^{チェジュ}済州島の古城里で生まれ、1943年大阪の猪飼野に来了。いじめにもあったが中学校で成績が良くなり、府立成城工高でも成績トップ。恩師の推薦で、日立の就職試験を受けるが「在日」が理由で落ちる。何度も恩師が掛け合いようやく入社。この就職差別で「自分が何者か」を考え始めた。

会社の男子寮に入って、ゲイである自分に気づいた。在日である以上にショックだった（後に兄にそれを告げると兄の家への出入り禁止と言われた）。仕事を辞め大学に行くことにした。20歳で岐阜大に、学生寮に入る。この時名前を本名の鄭哲に戻した。大学の寮は自由だった、ゲイでも在日でも差別されなかった。性も思想も自由だ、差別はない。

だから、銃で撃たれた人（安倍晋三）の国葬には大反対だ、政治家の国葬はいけない。安倍は自分のいうことを聞く人と聞かない人を差別する、聞く人にはバラまく。死んでも国葬という形でバラまく。日本の政治家は退化している、「統一教会」の言い訳を聞いても明らかだ。

アメリカには絶対行かない、銃規制をしないからだ。銃を持てば使うことがある。こちらからは戦争をしないということが「9条」だ。これが最大の抑止力。どんな相手でも話せばわかる。私たちは9条で戦争に反対していくんだ。日本の政治家（自民党）は「クソだわけ」で、それがわからない。ロシアのウクライナ侵略戦争についても、双方の兵士に「逃げろ」と言いたい。戦争するくらいなら国民にまわせ。平和でないと歌えない、恋もできない。兵士も同じだ。プーチンはもちろん悪いが、ゼレンスキーにも、武器を送れと言う前に「戦争をやめよう」と言わせよう。そして戦争は大切な人権を破壊する、地球環境も破壊する。

殺すなかれ・殺されるなかれ、ウクライナの人もロシアの人も、戦争をやめよう。アメリカは武器を送るが、ずいぶんそれで儲けている。アメリカがいつも一番問題だ。

私は在日で、韓国人で、男性でも女性でもある。そんな私が大阪の校長たちに講演、さらに母校：成城高校の校歌の作詞を頼まれ実現した。奇跡だが、これも人格のなせる技。全てにおいて人格は大切。家庭の事情で小学生から新聞配達をしたが、雨の日は新聞が濡れないよう注意した。お客さんもよく覚えてくれて新聞社から表彰され、仕事を辞めて大阪に戻った時も当時のお客さんに励ましてもらった。人格が良ければ奇跡も起きる。35年も歌で食べられたのもそのおかげ。政治家には特に人格が大切だが……。

「みんなちがって、みんないい」、金子みすゞにならって、『男色酒場』という歌を作った。昔から日本でも男色はあったが、明治政府の富国強兵政策で弾圧された。13～14人に一人はLGBTQだ。みんな自分を認めることが大切、そうして社会を変えよう。在日・ゲイ・歌……、私も自分を認め、自分で決めてきた。

○ 次に寄せられた参加者の感想（島9への注文あり）を、順不同・お名前割愛ですべて紹介します。

- ・ 自分の生き方・あり様も^{よう}含め深く考えさせられました。数十年前からの今里さんの歩みを改めて知ることができました。表面的に理解しているにすぎませんでした。感動的な話と時間をありがとうございました。これからの自分のすることを考えながら……。



- ・ てっちゃんは岐阜の宝、ほこりです。素晴らしい講演でした。歌は何度も聞いています。いつも感動します。
- ・ カミングアウトは無敵かな？高校の校歌ステキな歌詞です。甲子園で聞くのは無理かな？江戸文学の中には「男色」はけっこう描かれていますね。家光もそうだったとか？明治になってから悪化したものはけっこうありますネ。女性の地位もそうです。古代は女帝も多かったし……。
- ・ 私の人格をおほめ下さりありがとうございます♡。（私なんて、けがらわしいところのいっぱいいっぱいある、どうしようもない人間なんですけどね……）どこから行動を始めればいいんでしょう？私ごときもできる小さな一歩から……。
- ・ 本当に良かった。良かった！人間って不十分な、でも可能性に満ちた存在なんですね！地球の、そこに生きる生物の、その一部として。「科学」を手にした人間として自由と必然を求めて行きたいものですね。
- ・ 田中代表の挨拶、ちょっと長かったけど、さすがの内容でした。今里さんとは何べんもコンサートを聞いたり、一緒に飲んだり、本を読ませてもらったりしてきましたが、今日のお話と歌もとても良かったです。人権・カミングアウト・自分を認める・反骨精神・人格・おおらかにする・攻めない国になることが抑止力など、いくつものキーワードについて考えを深めることができました。
- ・ 多色の人権の差別なく平等の社会をめざし、努力 努力 努力……………
- ・ 本日は貴重なお話を聞け、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。大変ありがとうございました。今後のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。
- ・ お話も歌もとても良かったです。お話は内容が幅広くどれも興味のあることばかり、共鳴できることばかりでした。2つの困難をかかえ乗り越えてきた生き方、すばらしいと思いました。ありがとうございました。
- ・ 面白い話でした。理詰めにならず、感情として話してみえるのに共感もてました。マイクなどの音響が音楽用でなかったことが残念でした。
- ・ 強烈な個性に惹かれた。政権批判にも強く同感するところがあって、反骨精神は、彼の試練から培われたものでしょう。自由と平和を求める強烈なメッセージに感動しました。私の悩みなんて小さなもの。
- ・ 良い集いでした。良い話でした。良い歌でした。うれしい会でした。車の免許を返納し、狭い社会になりました。枯れかけている自分に甘んじていました。その心にうるおいのある泉をもらいました。心から感謝します。
- ・ 哲さんのお話いつも笑いを交え楽しいですが、はじめて生い立ちや生きてきた心情をお聞きしました。お名前の通り「哲」学的なお話だと思いました。差別のない戦争のない世界、言葉は美しいけれど哲さんの今までの人生の中でのご苦労を思うと、その重みを感じます。
- ・ 「感情体で話しています」ということだったのですが、わかりやすく深いお話良かったです。ご両親が日本にやってきました、いろいろな御苦労（差別等）もあり、ゲイという出自も……。でも歌で生計をたてられてすごいなあと思いました。成城高校の校歌、いつか甲子園で聞いてみたいです。
- ・ 今里哲さんの歌が聞きたくて来ました。この頃の自民党の異常な政治姿勢にも不安でいっぱいです。当たり前のこととして戦争反対・人権尊重進めていきたいです。政党。主義関係なく正しいことは正しいです。
- ・ 講演もいいですが、島九条の会の会員相互が知り合えるようにするためにテーマを決めて討論するような会を持って欲しい。過去にはそういう取り組みもあったと思いますが、新入会員にとっては誰も知り合いがなく同士としての意識が湧かず、次へつながらない気がする。
- ・ 今日とはとても楽しかったです。哲さんも悩みながら、乗り越えていまを生きていらっしゃると思います。その強さに感激です。9条の会もこうして楽しく学べる会になるよう右とか左とかでなく広がるといいですね。
- ・ 本日は、よい講話が聞けて良かったです。ちがう方向から人を見て活動しているので、九条の会も報道各社へのアポイントをして広くけんでんできるとよいと思います。
- ・ 平方さんがあいさつで絶句されたとき、すぐうしろにいた私も全く同じ気持ちでした。朝鮮・韓国・在日の人たちに対して、日本国民は総土下座して戦後を出発すべきであったと思っています。今里さんは、自分を一番信じる、一番大切にすることといわれました。うた、意志の強さ、やさしさ、そのオーラとともにまるごとファンになりました。ますます輝け、哲ちゃん！

※9月19日（日曜日 「戦争法」強行採決の日）スタンディングと集会・デモのお知らせ（ボード、会場に用意あり）

- ・ AM7:45～8:15 忠節橋北坂下交差点（島・則武・早田在住の有志）
- ・ AM10:30～ 集会 11:00：～デモ行進 清水川公園（岐阜駅南、「もう黙っとれん」主催です）

※「2022 ぎふ平和のつどい」 今年は安田菜津紀さんです 定員500です。申し込みをお早めに 詳細は同封チラシで。